

市町村名	与那国町
------	------

令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	離島教育環境改善事業	事業類型	<input type="checkbox"/>	産業振興
			<input type="checkbox"/>	定住促進
担当部署名	教育委員会教育課	事業実施(予定)年度	<input checked="" type="checkbox"/>	その他
			平成29～令和元年度	

事業内容	ICT技術を活用し、小規模学級・複式学級の課題解消に向けた小中学校間の合同授業を行い、離島における教育環境の課題解決を図る。			
先進性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性	<input type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他	

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度	<input type="checkbox"/> 後年度( 年度)
--------	---	-----------------------------------

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 負担	<input type="checkbox"/> その他( )
------	--	--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	18,683	26,990	17,105		
	(b) 予算現額	18,683	26,990	17,105		
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
	(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計 (b+d)	18,683	26,990	17,105		
	B. 執行済額	17,943	25,949	16,770		
	うち補助金充当額	14,355	20,759	13,415		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	96.0%	96.1%	98.0%		
	予算の状況の説明	概ね計画通りに執行できた。不用額335千円については、通信費の減等により生じた執行残である。				

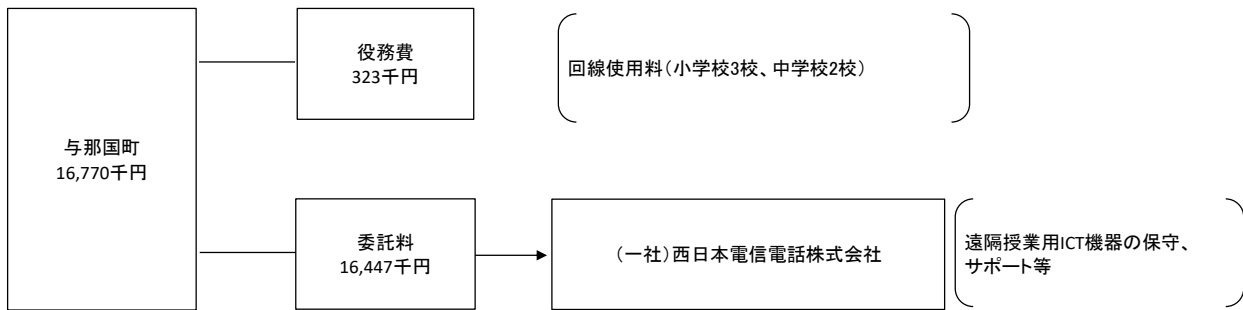
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
合同授業時間数(中学校)	目標	( 4時間 )	( 12時間 )	( 10時間 )	( )
	実績	6時間	12時間	10時間	
合同授業時間数(小学校)	目標	( - )	( 8時間 )	( 8時間 )	( )
	実績	-	4時間	8時間	
達成状況説明	<p>○中学校:計画通り年間10時間実施し、合同授業に全学年2回以上参加した。</p> <p>○小学校:計画通り年間8時間、遠隔合同授業を実施し、合同授業に全学年1回以上参加した。</p>				

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)
			合同授業による小中学生の学力の向上(R1年度比)	目標	( )	( )
(参考指標) 実験参加生徒にアンケートを行い、普段の授業と比べ、総合的によかったまたは普段の授業と変わらないと回答する割合	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績	-	93%	93%		
(参考指標) 遠隔合同授業を実施した教員にアンケートを行い、複式学級・小規模学級の課題を解消した授業が展開できたと考える割合	目標	( )	( )	( 80% )	( )	
	実績	-		73.5%	-	
(参考指標) 遠隔合同授業を受けた児童生徒にアンケートを行い、普段の授業より多様な意見に触れ、考えを深められたと考える割合	目標	( )	( )	( 80% )	( )	
	実績	-		86.9%	-	
進捗状況説明	<p>○アンケートを実施し、授業のわかりやすさ、聞こえやすさ、見えやすさ等を普段の授業と比べ、25ポイントの生徒が普段の授業と変わらない、68ポイントの生徒が普段の授業と比べよいと回答した。</p> <p>○事業実施期間の最終年度となる今年度は、教員及び児童生徒にアンケートを行い、遠隔授業の実施により小規模学校の課題が解消されたかを検証した。教員の73.5%が、遠隔合同授業は課題を解消できると回答、目標に6.5ポイント届かなかった。また、「普段の授業より多様な意見に触れ、考えを深められた」と考える児童生徒の割合が、目標を6.9ポイント超える結果となった。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○教員が思うように授業を展開できなかった理由として、「他校児童生徒間の交流時間や授業回数が少なかったため、お互いを知らない・気恥ずかしさにより、発表等が少ない授業・学級があった」事があげられる。	○他校児童生徒間の関係性を築くため、交流時間、授業回数を増やす必要がある。
<b>今後の取り組み方針</b>		
○他校児童生徒間の関係性を築くため、授業外での交流(休み時間や給食時にも接続する等)時間を設けることや、1つの単元を連続した合同授業として展開し、1学年あたりの授業回数を増やす取組を推進する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
16,770	16,770	13,415	3,355	0



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は、本授業で使用する遠隔システム及び回線を整備した事業者であり、支出先として妥当である。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の2%以内であり、適正な規模であった。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用・用途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、支出時においても確認を行っているため適正である。